



通巻 127号
安曇野市豊科郷土博物館友の会
令和5年3月1日発行



「知れば知るほど…!？」

友の会副会長 浅川 五子

植物標本を台紙に置いた瞬間“あらっ!!”思わず見惚れてしまう。そうなの?と思われるでしょうか…植物調査部の活動は4月の採集作業から始まります。今年度は生坂と田沢のフィールドです。林道や河川敷を移動しての採集作業は季節ごとの植生の変化を体感しながら一種一体を採集します。学芸員の松田さんより各自10種以上採集できるようにとのお達し?もあり、目を凝らしながらの採集活動でした。共に採集することで自分一人では見過ごしてしまうだろう植物に出会うことが出来、植物に限らず多様な情報や知識を得ることが出来ました。また畦道や水路脇で立ち止まっては話し、しゃがみこんだり、樹木を見上げたりの小集団は傍からみたら怪しげに見えること間違いなしでしょうから地域の方や出会った方にはご挨拶は欠かせません。採集した植物は各自持ち帰り、植物の様子分かるよう形を整え新聞紙の間に挟んで重しを乗せ、毎日、新聞を交換して2週間ほど乾燥させます。月末には、採集植物が何者であるのか自分なりにある程度の見通しを立てた標本を持ち寄り学習会を行います。植物分類上の所属や種名を決定するのです。葉の切れ込み具合や茎や葉に毛があるなし種子の形状等々…。私的にはそんなにこだわらなくても一緒に良いことにすればと思わないでもないのですが、これがまた、なかなか苦しいけれどなぜか面白いのです。近年はゲノム解析が進化し形態学的な分類方法から遺伝学的分類に変更されていますので、植物の多様性や生き残るための様々な工夫がいかに進化し、今後どのように変化していくのか、気候変動への対応の仕方にも興味をそそられます。12月から3月は乾燥標本を台紙に張り付ける作業(マウント作業)です。新聞の間から台紙に移動させると大変身!途端に美人になってしまうのです。これが植物にますますのめりこむ要因になっています。ラベル記入し、防虫の冷凍処理を施して保管となります。友の会に入会し3年、改めて自然は不思議に満ちていることを実感し、発見や探求を共に共感できる仲間がいることの喜びをかみしめております。

「春季企画展、お待ちしております!」

博物館学芸員 宮本 尚子

3年ぶりに展覧会の担当をする。
前は安曇野の人の一生を3年かけて展示し、その後3年かけてブックレットを作っていたので、6年間ほぼ人の一生に係りきっていたことになる。

今回は、紆余曲折したが「野良着」の展示をすることになった。野良着とはいったい何なのか。一から学び直しになった。どうも、野(野原・田畑)ら(等)着というのが正しいようだ。

博物館で収蔵している衣資料は、晴れ着が多い。「家に古い着物があるんだけど…」と市民の方から申し出をいただいて見に行くと、やはり大抵は晴れ着である。結婚式や葬式などのハレの場で着るのが晴れ着だ。高価で貴重だったことはよく分かる。何代も受け継いでいくのは、当たり前だが晴れ着であって、決して野良着ではない。破れたり汚れたりすることが前提の野良着は、残らないのが当然だ。

そもそも、野良着はいつから野良着だったのだろう。野良へ出るから野良着だが、今のように便利な暮らしになる以前は、生活のほとんどは労働だっただろう。調べていくと、野良着には野良着の変化の面白さがある。そこには、昔の人々が、その時手に入るもので、知恵をしばらく工夫した姿が見えるし、そうせざるを得なかった社会的な背景も案外透けて見える。

「え〜、野良着なんてつまらないよ」などと言わずに、ぜひ展覧会に足を運んでいただければ、目からウロコが落ちる?かもしれない。



野良着を作っていました。展示をお楽しみに!



令和4年度春季企画展が始まります!

「わたしの野良着」



<関連イベント>

◆講演会「仕事着から見た人々の暮らし」

- ・講師：福澤昭司氏(長野県民俗の会)
- ・日時：5月20日(土)13:30~
- ・会場：豊科公民館2階大会議室
- ・参加費：100円(資料代等)
- ・定員：40名(先着順)
- ・申込：4月11日(火)9:00~博物館へ電話で

◆ワークショップ

①布ぞうりづくり

- 3月26日(日)9:00~13:00
- 先着5名 申込3/16~ 要入館料・参加費無料

②伸子針しんしばりで洗い張り体験

- 4月16日(日)10:00~11:00 *雨天の場合・4月23日(日)
- 先着6名 申込4/6~ 要入館料・参加費無料

③綿の手紬てつむぎコースターづくり

- 5月14日(日)9:00~と13:00~(3時間程)
- 先着5名ずつ 申込5/4~ 要入館料・参加費110円

◆ギャラリートーク

- ①3月18日(土) ②5月13日(土)
- ・10:00~ ・14:00~ [いずれも40分程度]
- 申込不要 要入館料・参加費無料

*詳細は、広報やチラシをご覧ください。

友の会展覧会

1月14日(土)～1月29日(日)

第68回新春書芸展

新春にちなんだ漢詩・唐詩や故事など真心のこもった書15点が出品されました。1月19日(木)には、千野秀濤先生によるギャラリートークも行われました。毛筆による書の力が見る者に大いなる感動を与えてくれており、それぞれの作品を時間をかけてじっくりと味わっているお客様がたくさんおられました。



第4回着物リメイク展

思い出の残る大切な着物や帯を現在の暮らしで活用しやすいドレスやジャケット、ブラウス、バッグなど、巧みに生まれ変わらせた作品約60点が展示されました。見事にリメイクされた数多くの作品を見ながら、作者の一言を熱心に読んだり、感激の感想を綴ったりしているお客様が大勢おられました。



今後の友の会展覧会予定

第39回山草・サクラソウ展

5月3日(水)～5月5日(金)

丹精込めて育てられた山野草・サクラソウが毎年100鉢近く展示されます。是非ご観覧ください。

6月3日(土)～6月18日(日)

第37回写真展

一瞬の表情をとらえたフォト。どんな瞬間が展示されるのか、今から楽しみです!

第18回ボタニカルアート展

植物学的に、特徴などを正確に、しかも美しく魅力的に描かれた『植物学的な芸術』を友の会会員の皆さんもお楽しみください。

絵手紙部

部長 高橋 久子

「一つの生き方 絵手紙と共に」

絵手紙との出会いは、「へたでいい へたがいい」と云う小池邦夫先生の合言葉に誘われこの世界に入りました。多くの仲間と巡りあい、感謝しながら学ぶ日々を過ごして来ました。

自然のすばらしさ、素朴な草花を愛でる楽しさを五体を感じ、その喜びを味わうことが出来ました。年と共に単純なことでも仲々難しく、出来ないことが多々あります。そんな時、小池先生の「明日よりも今、今、今、よしこれから」の言葉に励まされ、頑張ろうと心と体にいい聞かせている毎日です。仲間の皆さんとは心を通わせあいながら、それぞれの人生や生き方を学び合う事が出来ます。言葉と言葉の大切さを教わりながら私達に喜びを与えてくれます。いろんな方々に心を贈る絵手紙に、幸せを感じながら心の糧となっています。



「人生は一度きり だから一つの道を 一途に生きてゆきたい」 坂村眞民

絵手紙は人生の応援歌・・・残された人生の生き方の一つとして続けて行こうと思います。

山草部

部長 古幡 正夫

山草部はこのところ部員の減少と高齢化で存続が危ぶまれています。そんななか部員が顔を合わせる度、「あの階段を上るのがネー」と耳にする。あの階段とは博物館の2階に上る階段のことであるが、当分は辛抱・・・今年も頑張って行事に参加しましょう。

さて、昨年7月、学芸員の松田貴子さんから、長峰山で採種したヤシャリンドウの種を播種してほしいとの声掛けに早速受け取りました。種殻の中から種子を取り出し、完熟種と未熟種に26粒を選別。ところが腰痛におそわれ蒔付けしたのは8月初旬。8月下旬に2本が発芽、9月上旬に2本が発芽したのですが、1本が枯死、現在、日中は日向に、夜は玄関で越冬中です。暖かくなったら残り種が発芽するか、これからの生長を楽しみにしています。

この冬は寒さと晴天続きで軒先などの鉢植えの山野草が乾燥しています。過乾にならないよう注意しましょう。



令和5年度 博物館展覧会スケジュール (予定)

- ※ 令和5年度 夏秋季企画展「古代の墓は何を伝えるか ～古殿屋敷遺跡の墓を中心に～」
- ※ 第40回 白鳥写真展 (実施検討中)
- ※ 令和5年度 春季企画展 「はくせいの動物園」(仮)

今年度の友の会活動へのご協力、どうもありがとうございました。来年度も引き続き、ご入会を希望される方は改めて会費をお納めください。令和5年度の会員証を発行いたします。タカラさがし部については、4月に小学校を通じて募集のお知らせをします。友の会会報は博物館のホームページで、カラーで見ることができます。是非ご覧ください。